

2015 年度受賞研究の概要

1. 受賞した賞

第 30 回沖永賞 公益財団法人労働問題リサーチセンター

2. 受賞日 2015 年 3 月 7 日

3. 受賞者 法政大学社会学部教授 上林千恵子

4. 受賞対象図書

『外国人労働者受け入れと日本社会－技能実習制度の展開のジレンマ』
東京大学出版会

5. 図書の内容

日本の外国人労働者受け入れの実態について、過去 25 年間に書いた論文をまとめた著書であり、その中心は外国人技能実習制度の持つ実態とかい離、そのかい離が生じた社会的背景について論じている。その上で、移民受け入れが西欧諸国でも政策意図とかい離した実態となっていること、また技能実習生の主たる送り出し国である中国の労務輸出事情を検討し、日本の外国人労働者受け入れが両国間の相互依存関係となっていることを示した。

結論として、外国人の単純労働者受け入れはこれまで賛否両論で扱われていたが、現実には受入れ実態が先行し、技能実習生が日本の産業構造中に不可欠の労働力として組み込まれていること、したがって彼らの受け入れ条件の向上も不可欠であることを主張した。

6. 法政大学関係者のこれまでの沖永賞受賞歴

平成 13 年 佐藤厚『ホワイトカラーの世界』日本労働研究機構

平成 18 年 武石恵美子『雇用システムと女性のキャリア』頸草書房

平成 20 年 二村一夫『労働は神聖なり、結合は勢力なり－高野房太郎とその時代』
岩波書店

